

報告事項 1 令和6年度事業報告について

事業報告については、定款第39条第1項により、毎事業年度終了後に理事長が書類を作成し、監事の監査を受けたうえで理事会の承認を受け、同条第2項により定時総会に提出し内容を報告することとされています。

令和6年度事業報告につきましては、令和6年度第3回理事会において中間報告を行うとともに、定款の規定に基づき下記のとおり作成し、令和7年4月24日に監事監査を受けました。引き続き、令和7年度理事会の決議目的である事項として全役員の承認をいただきましたので報告いたします。

記

1 令和6年度事業報告

I 定款に規定された事項の報告

1 配合飼料価格差補てん事業

定款第4条の(1)に基づき実施した配合飼料価格差補てん事業については、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金および各飼料荷受組合とそれぞれ契約を締結し、基本契約および数量契約に基づき補てん業務を行いました。

(1) 事業主体 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下、全日基）

(2) 配合飼料価格差補てん契約の締結

① 令和6年度数量契約

畜 種	当 初		実 績		
	加入者(件)	契約数量(トン)	契約数量(トン)	増減(トン)	構成比(%)
乳用牛	24	4,062	4,029	△ 33	8.4
肉用牛	56	33,787	33,787	0	70.6
豚	1	145	145	0	0.3
採卵鶏	13	6,318	6,318	0	13.2
肉用鶏	6	2,640	2,640	0	5.5
その他	1	948	948	0	2.0
合 計	101	47,900	47,867	△ 33	100.0

② 契約の解約

期 間	解約件数	解約数量(トン)	解約畜種	備 考
第4四半期	2	33	乳用牛2件	

(3) 補てん積立金の徴収および納付額

① 通常補てん積立金

期 間	加入者(件)	契約数量(トン)	積立金の額(円)	備 考
第1四半期	101	11,966	9,572,800	トン当たり 800円
第2四半期	101	11,793	9,434,400	
第3四半期	101	12,138	9,710,400	
第4四半期	99	11,970	9,576,000	
合 計	—	47,867	38,293,600	

② 別途納付金 なし

区分	加入者(件)	対象数量(トン)	別途納付金単価(円)	納付金額(円)
新規加入者	2	1,120	0	0

③ 返還金請求

合理的な理由なく令和6年度契約をしなかった者に返還請求を行いました。
該当者1名、返還額10,213円、令和7年3月31日時点で未返還。

(4) 補てん金の受領および交付額

① 分割交付金単価

令和5年度第4四半期以降に価格差補てんの発動はなく、令和6年度は令和4年度第1四半期から実施されている分割交付の交付金単価による通常補てん金が交付されました。

令和5年度第4四半期に下記のA単価（令和5年度第1四半期～第3四半期）分、令和6年度第1四半期にB単価（令和5年度第3四半期）分を交付しました。

対象時期	補てん単価 (円/トン)	第1回単価 (円/トン)	第2回単価 (円/トン)	第3回単価 (円/トン)	第4回単価 (円/トン)
令和5年度 第1四半期	4,230	1,059	1,057	1,057	A 1,057
令和5年度 第2四半期	3,150	900	400	A 400	B 1,450
令和5年度 第3四半期	630	3	A 627	—	—

② 受領および交付額

発動時期の交付対象数量と分割交付単価①により、下記の通常補てん金が交付（分割交付分のみであり振込手数料は全日基が負担）されました。

期 間	補てんの 種類	交付 件数	対象 四半期	対象数量 (kg)	トン当り 単価(円)	交付金額 (円)
令和5年度 第4四半期	通常 (分割交付)	93件	R5. I R5. II R5. III	10,976,986 10,669,296 11,427,540	1,057 400 627	23,036,876
令和6年度 第1四半期	通常 (分割交付)	92件	R5. II	10,668,296	1,450	15,469,025
令和6年度 第2四半期	通常	0		0	0	0
令和6年度 第3四半期	通常	0		0	0	0
合 計	通常	—	—	—	—	38,505,901

(5) 事業の運営に関する実態調査

令和6年9月4日付け6全日基第49号業務により、全日基の理事長から実施通知があり、過去の調査実績および契約数量等を勘案し、実態調査要領に準じて調査対象(1荷受組合、1特約店)を選定しました。

令和6年11月14日および11月20日に、現地において聞き取り調査を実施しました。いずれも、配合飼料価格安定基金の運営に係る手続きは、適正に執行されていました。

(6) 事業に係る事務処理要領と全日基の業務方法書の改定

全国共通の「配合飼料価格差補てん事業事務処理要領」と全日基の「配合飼料価格差補てん事業業務方法書」が、令和7年1月版として発行されましたので、各飼料荷受組合（製造業者）ならびに滋賀県会員特約店に1冊ずつ送付しました。

2 配合飼料価格高騰対策緊急支援事業

(1) 滋賀県が、令和4年度から実施している事業について、定款第4条の(3)に基づき事業実施主体として参加しました。

(2) 今年度は、交付金の交付要件を見直され、配合飼料価格安定制度の補てんが発動していなくても、原料価格の上昇分に応じて交付できるよう補助金交付要綱を改正されました。

当基金協会の実契約者数84者のうち、配合飼料購入実績のある81者を交付対象者として事業実施しました。

(3) 補助金額

期 間	交付 対象者	交付対象数量 (kg)	支援単価 (円/トン)	交付金額(円)
令和5年度第4四半期	79者	10,629,744	4,900	52,085,745
令和6年度第1四半期	80者	11,350,870	5,000	56,754,350
令和6年度第2四半期	79者	10,760,950	3,800	40,891,610
令和6年度第3四半期	78者	11,725,520	2,600	30,486,352
計	—	—	—	180,218,057

3 畜産高度化支援リース事業

定款第4条の(2)に基づき実施した畜産高度化支援リース事業については、貸付料、貸付機械譲渡料、保険料等の徴収および納付ならびに施設の管理状況の把握に努めました。

(1) 事業主体 一般財団法人畜産環境整備機構

(2) 機械の貸付内容

事業名	貸付 者数	年度	貸付機材	備 考
直接リース 堆肥保管施設整備 リース事業	1	平成 25 年度	堆肥置場 2 棟、ショベルローダー	1/2 補助付き
	1	平成 26 年度	堆肥置場 2 棟、発酵機	

(3) 貸付料の徴収および納付額

①平成 2 5 年度貸付分

貸付施設等名	譲渡代金	消費税相当額	計
堆肥置場2棟	680,000 円	34,000 円	714,000円

②平成 2 6 年度貸付分

貸付施設等名	基本貸付料	附加貸付料	消費税 相当額	保証 保険料	計
堆肥置場2棟	887,490 円	13,311円	70,998円	11,370円	983,169円

4 肉用子牛生産者補給金制度事業

定款第4条の(3)に基づき実施した肉用子牛生産者補給金制度事業については、契約者に対して子牛の個体登録、販売・保留確認申出等の手続きを進め、生産者負担金と手数料の徴収および納付を行いました。

なお、12か月齢の子牛の保留確認については、関係する飼料荷受組合様と飼料販売特約店様に再委託し現地調査いただきました。

また、6月19日には、一般社団法人滋賀県畜産振興協会が実施する事務委託先執行状況調査を受けるとともに、契約生産者調査・指導に同行しました。

(1) 事業主体 一般社団法人滋賀県畜産振興協会

(2) 契約者数 11者、事務手続き対応7者

(3) 生産者負担金等の徴収および納付額

(令和5年11月2日～令和6年11月1日生まれ)

品 種	個体登録 頭数	生産者負担金			手数料 (1,000円/頭)
		頭数	単価	金額	金額
黒毛和種	498 頭	389 頭	400 円/頭	155,600 円	498,000 円
交雑種	245 頭	245 頭	800 円/頭	196,000 円	245,000 円
合 計	743 頭	634 頭		351,600 円	743,000 円

(4) 補給金の交付

(独)農畜産業振興機構から契約者指定口座に直接交付

	黒毛和種		交雑種	交付金額 (単位:円)
	交付単価	交付頭数	交付単価	
令和5年度第4四半期	—	—	—	—
令和6年度第1四半期	22,600円/頭	118 頭	—	2,666,800 円
令和6年度第2四半期	65,100円/頭	128 頭	—	8,332,800 円
令和6年度第3四半期	42,100円/頭	140 頭	—	5,894,000 円
合計		386 頭		16,893,600 円

5 優良和子牛生産推進緊急支援事業

本事業は、和子牛価格の下落時において、飼養管理向上に取り組む生産者に奨励金を交付する事業で、肉用子牛生産者補給金制度に登録した和子牛で販売したものが対象になります。

定款第4条の(3)に基づき、当基金協会が契約している生産者から要望を受け、肉用子牛生産者に対する事業の周知徹底、事業参加申込書のとりまとめ、各種報告書の提出など、一般社団法人滋賀県畜産振興協会会長と事務委託契約を締結しました。

(1) 事業主体 一般社団法人滋賀県畜産振興協会

(2) 事業申請 4 者

(3) 実施状況

肉用子牛生産者補給金制度の契約者のうち4者が事業参加されました。

令和6年度第1四半期、第2四半期、第3四半期に、平均価格が発動基準を下回ったことから、飼養管理向上の取組数に応じて奨励金が交付されましたが、事業参加された4者では販売した和子牛がいなかったため交付対象にはなりませんでした。

6 畜産経営者支援事業

全日基から毎月届く「配合飼料価格安定制度を巡る情勢（B版）」を会員および理事と監事に配信しました。

また、定款第4条の(4)に基づき、全日基や滋賀県が発信する家畜防疫等に関する情報について、希望される会員を主としてメール送信しました。

- ・全日基からの情報

ランピースキン病等に関するもの（受信6回） 1 回

- ・家畜衛生情報

高病原性鳥インフルエンザに関するもの 4 6 回

うち、発生予防に関する滋賀県内情報 3 回

口蹄疫、その他防疫対策の徹底に関するもの 3 回

豚熱に関するもの 1 回

米国 HPAI ウイルス（鳥インフル） 1 回

Ⅱ 管理・運営事項に係る報告

1 会議

(1) 総会、理事会の開催

(2) 会議、研修会等の参加

2 正会員の異動

会 員	期首会員数	期中の動向		期末会員数
		加 入	脱 退	
荷受組合	13	0	0	13
メーカー	12	0	0	12
特約店	3	0	0	3
計	28	0	0	28

3 役員の異動

時期	就任	辞任
令和6年5月22日	全役員重任	—
令和6年8月1日	監 事 中所 暁彦	監 事 本田 大介
令和6年10月1日	常務理事 北村 元一	常務理事 井上 忠雄
令和7年3月24日	監 事 吉田 寛章	監 事 渡邊 章
令和7年4月1日	理 事 古田 裕平	理 事 小田島 威夫

4 令和6年度会費の徴収

会 員	徴収会員数	徴収金額	備 考
荷受組合	12	2,874,000円	1トン当り 60円
メーカー	12	120,000円	1社当り 10,000円
特 約 店	3	30,000円	1社当り 10,000円
合 計	27	3,024,000円	

5 基金協会事務局の運営改善に向けた取り組み

令和6年10月1日から、当基金協会の事務局業務を一般社団法人滋賀県畜産振興協会に委託しました。

これに伴い、基金協会職員は滋賀県畜産振興協会職員と併任し、事務局長と事務員として引き続き基金協会事務局業務を担当することとなりました。

6 通常補てん積立金等の徴収方法

配合飼料価格差補てん事業の運営に関する実態調査や、会議、研修会等で飼料荷受組合や特約店から、通常補てん積立金や当協会の飼料荷受組合会費の徴収方法に対する省力化の要望を伺ったことから、口座振替方法の導入を検討しました。

既対応協会の状況を参考にし、配合飼料価格差補てん事業事務処理要領に基づき、飼料荷受組合等の協力を得ながら各契約者の意向を確認した結果、令和7年度から8組合52件について預金口座振替により徴収することとなりました。

Ⅲ 事業報告の付属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の付属明細書として記載すべき「報告事項の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。